

# IDEAL

## 南青山の文化発信基地 IDEALビル デザインやレストランをテナントに迎え2023年5月27日（土）開業

建築設計：中村拓志 & NAP建築設計事務所

インテリア / デザイン：minotticucine、TOM DIXON TOKYO、IDEAL Tokyo

イベントスペース：LIGHT BOX ATELIER / SEMPRE

レストラン：Dominique Corby



2023年5月27日（土）、東京都港区南青山に、デザイン、食、文化を発信する  
IDEALビル（イデアルビル）がオープンいたします。

テナントは、下記の通り。

インテリア / デザイン：minotticucine（B1F）、

TOM DIXON TOKYO/THE CAFE by cadet（1F）、IDEAL（3F）

イベントスペース：LIGHT BOX ATELIER / SEMPRE（2F）、

レストラン：Dominique Corby（1F）

建築設計は、建築家中村拓志 & NAP建築設計事務所が担当しました。

また、館内のアートワークについては、左官を挟土秀平、アート作品をコシノジュンコが手がけ、この建物全体が、アートやデザインで溢れた存在になります。

南青山の新たなランドマークにご期待ください。

<プレスお問合せ先>

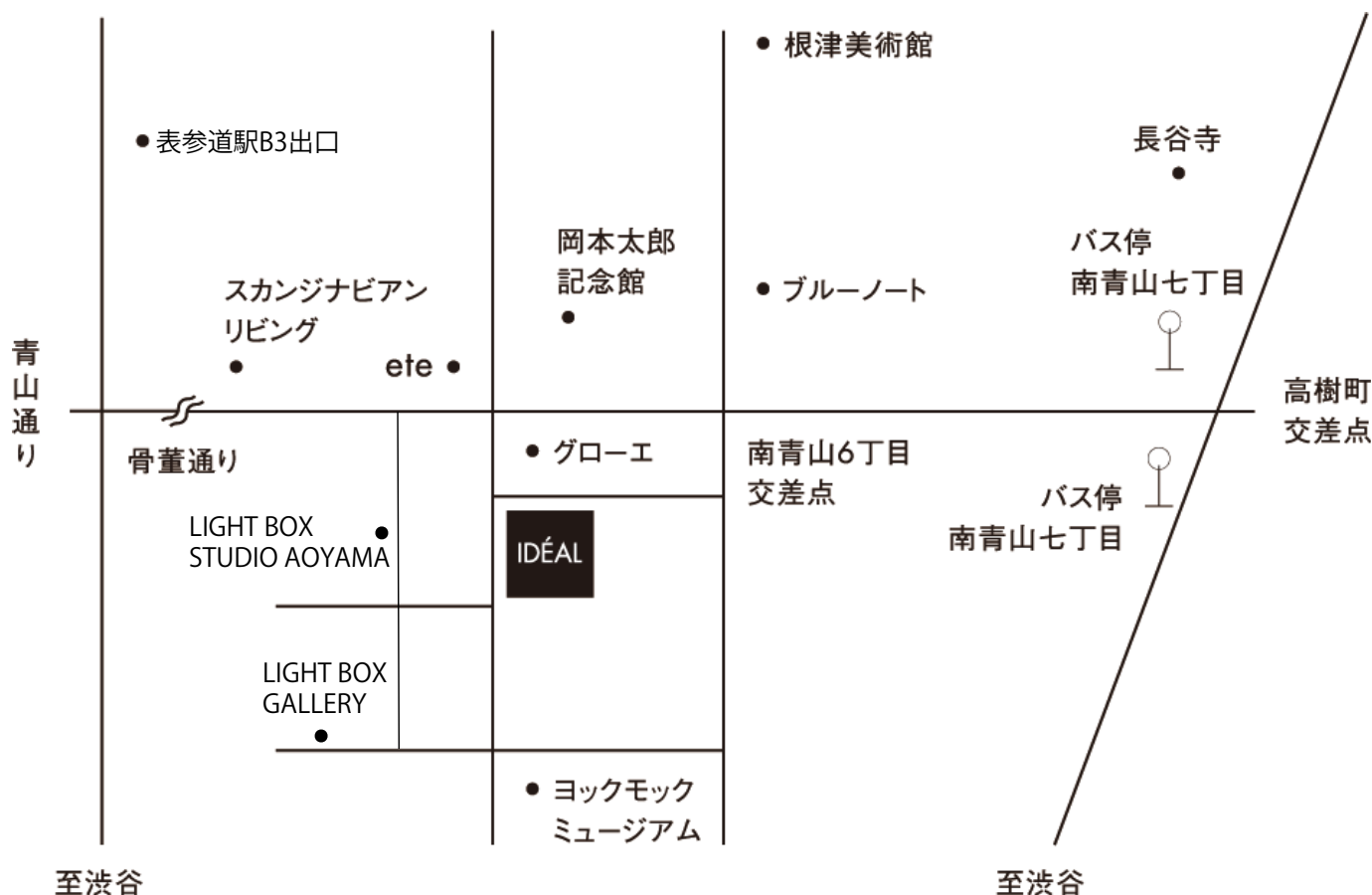
HOW INC. (IDEAL Building PR窓口)

Mail : [event@how-pr.co.jp](mailto:event@how-pr.co.jp) TEL : 03-5414-6405

## IDÉAL Building 概要

- 名称. IDÉALビル (イデアルビル)  
 住所. 107-0062 東京都港区南青山6-13-1  
 営業時間. 店舗により異なります  
 アクセス. 表参道駅 B3出口より徒歩8分  
 ウェブサイト. <https://www.ideal-tokyo.jp/>  
 開業日. 2023年5月27日 (土)  
 商業施設面積. 288坪/701.76㎡※共用通路等を含む  
 店舗数. 5店舗  
 フロア構成.
- ・ B1 キッチンメーカー minotticucine
  - ・ 1F インテリア&カフェ TOM DIXON TOKYO/THE CAFE by cadet
  - ・ 1F レストラン Dominique Corby
  - ・ 2F イベントスペース LIGHT BOX ATELIER / SEMPRE
  - ・ 3F インテリア IDEAL TOKYO
  - ・ 4F 能舞台 (非公開)

## MAP



## 建築



Photo : KEI Tanaka

### 建築設計

#### NAP建築設計事務所 中村拓志 (Hiroshi Nakamura)

1974年東京生まれ。鎌倉と金沢で少年時代を過ごす。1999年明治大学大学院で建築学 修士を修めた後、隈研吾建築都市設計事務所を経て2002年NAP建築設計事務所を設立。現在はNAPコンサルタント、NAP International、NAPデザインワークスの代表も務め、街づくりから家具まで、扱う領域は幅広い。自然現象や人々のふるまい、心の動きに寄りそう「微視的設計」による、「建築・自然・身体」の有機的関係の構築を信条としている。そしてそれらが地域の歴史や文化、産業、素材等に基づいた「そこにしかない建築」と協奏することを目指している。近年はそのエッセンスを日本の伝統的な建築や庭園文化の中に発見し、それらの再構築にも取り組んでいる。主な受賞歴に日本建築学会賞（作品）、日本建築家協会環境建築賞 大賞、日本建築士会連合会 建築作品賞 大賞、ARCASIA Awards for Architecture ほか

## 中村拓志 建築コンセプト

### 観世水模様の建築

高品質な住宅とブランドの旗艦店が共存する南青山の街には、インテリアやライフスタイル関連のショールームが多い。その南青山らしさを引き受けたこの建築は、上層階には能舞台を持つ住宅、低層階にはレストランやインテリアなどのショップ、オーナーサロンを有する複合施設である。骨董通りから一筋入った敷地のため、視認性の高い場所に特殊ガラスのファサードと集いの広場を設けた。広場のために建物をセットバックしたが、それによって北側に陽の光が入ると同時に、道路斜線を超えて屹立する塔状のシンボリックな建築が、天空率計算の併用によって可能となった。広場にはレストランの屋外客席が展開し、それを囲うように立体的に設けたテラスには、ショップの賑わいや3階のオーナーサロンからの文化的催しが染み出すだろう。外壁の石やガラスには、能舞台のあるビルにふさわしくオーナーの流派の定紋である観世水をモチーフにした意匠や流水模様の素材感を用いた。立体成型したオリジナルガラスは、南西からの陽射しを和らげながら室内にみずみずしい現象をもたらすと同時に、北面の骨董通り側に対しては人々を誘う煌めきとなる。また内部から見ると、近隣の雑多なノイズを滲ませ、美しい光景に変えるだろう。

### 紅白梅庭園（非公開）

能舞台のある4階の入口正面の庭は、観世元雅による能の演目「隅田川」をモチーフにしたと言われる尾形光琳「紅白梅図屏風」に合わせて、立体的な観世水模様を掘り込んだ石製の川の両岸に、紅白の梅を植えた。再び出逢うことを望む二人の前に渦巻く川があるという、いわば天の川構図のこの庭は、再会を喜ぶエントランスに相応しいと考えた。黒い石材は後述するように影の字を持つ御影石の鏡面仕上げとし、人ならざるものの姿を写し込む能の世界観も意識した。能舞台は総檜造で、影響の松と能舞台、白洲の背後には能舞台の松の鏡板と相対するように寿の字に似た老黒松と磐座の庭を奉じた。鏡板とは磨かれた板のことで、舞台正面の神松がうつりこんだものと言われている。これは本来、能とは演者が客に向かって行うものではなく、舞台正面の神の降臨を「待つ」神事であることを意味している。神が降臨し仮の姿を現すことを影響（ようごう）と言うが、西日を受けた老松の影が舞台に向かって黒々と影を落とす時、まさにその向こうに対して舞うという、能舞台の初源的な在り方を目指した。

## エントランス のアート作品



Photo : 今井 卓

### 左官

#### 挾土秀平 (Syuhei Hasado)

1962年岐阜県高山市生まれ。1983年技能五輪全国大会左官部門優勝。1984年同世界大会出場。2001年「職人社秀平組」を設立。ビルなどの野丁場現場の経験と、伝統的左官の技術と感覚を活かし、土や漆喰、藁、砂、竹など自然の材料をつかって、土壁を制作。モダンで斬新な作風は類がなく、独自の世界観を生み出している。国内はもとより海外でも、企業の顔となるエントランスホールの大壁面や、個人邸、店舗の壁面などをつくる。近年ではアート作品として制作し、美術館やギャラリーでの展示も行う。

主な作品に、岐阜県庁舎 エントランスホール「岐阜に舞う」、高山グリーンホテル レセプション、岐阜関ヶ原古戦場記念館、JAL ファーストクラスラウンジ、銀座MIKIMOTO、アマン東京、洞爺湖サミット、ペニンシュラ東京、大河ドラマ「真田丸」タイトルなど。

### 挾土秀平 作品コンセプト

プライベートの能楽堂を持つこのビルの、エントランス壁面のモチーフとして選ばれたのは「観世水」だった。観世流の観世太夫や尾形光琳が用いたという優美でモダンな流水文様である。土壁をベースに、私はフリーハンドで描いた観世水を立体的なレリーフにし、さらに紫と銀の色彩で水の輪郭を重ねた。現代の工業製品では出せない有機的なラインとテクスチャーを持つ、手仕事らしさのある工芸的な壁が来場者を迎えることになった。さらに1階のビストロでは、シェフの舞台である調理スペースとカウンター席の間の垂れ壁を制作。豊穣のモチーフであり、フレンチに欠かせないワインの材料である葡萄を配している。R面を連続していく葡萄のレリーフを、アシンメトリーで余白を活かした和の構図としているのは、日本の食材や技術を活かしフレンチと融合させているシェフへのリスペクトである。



### デザイナー

#### コシノジュンコ

1978年から22年間パリコレクションに参加。以降、世界各国でショーを開催。国際的な文化交流に力を入れる。オペラ「魔笛」や「蝶々夫人」、ブロードウェイミュージカル「太平洋序曲」(トニー賞ノミネート)の舞台衣装、花火やインテリア等のデザインを手掛ける他、国内被災地への復興支援活動も行う。VISIT JAPAN大使、2025年日本国際博覧会協会シニアアドバイザー、文化庁「日本博」企画委員、文化功労者。2021年フランス政府よりレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ、2022年旭日中綬章を受章。近著「コシノジュンコ56の大丈夫」(世界文化社)。

### コシノジュンコ 作品について

タイトル「山水」

床の間にかけてられた掛け軸

山水は山から流れる水の波紋

徐々に変化する鉄の錆

サイズ：2200×720 材質：コールテン鋼

## フロア構成

**minotticucine** (ミノッティクチャーネ) /B1F

イタリアペローナ地区に本社を持つ1949年創業のシステムキッチンメーカー。「キッチンが建築の一部であり、空間の主役は人である」というフィロソフィーのもと、極限まで無駄を省いたシンプルで素材感溢れるダイナミックなデザインが特徴です。素材はイタリアを中心に世界各国から調達した最高級の天然石、天然木を使用。いち早く天然石を使用したキッチンを発表したことから石のキッチンメーカーとしても知られています。

TEL 03-6434-1124

営業時間 完全予約制

URL <https://www.minotti-jp.com/>

**TOM DIXON TOKYO** (トム・ディクソン トーキョー) /1F

1980年代初頭よりデザイナーとしてのキャリアを歩み始めたTom Dixonが、2002年に創業したイギリスの上質なライフスタイル・デザイナー・ブランドです。休むことを知らないイノベーターで、照明や家具、インテリア・アクセサリーの開発に日々取り組んでいます。素材そのものの特徴を生かした独創的な創作手法や表現方法は、一見英国的な側面を持ちながらも、奇抜でユニークな部分を兼ね備えています。店舗にはカフェTHE CAFE by cadetを併設しています。

TEL 03-6421-0846

営業時間 11:00-18:00 (定休日 水曜 / 日曜日 夏季 / 年末年始)

URL <https://www.tomdixon.tokyo>

**Dominique Corby** (ドミニク・コルビ) /1F

元 ラ・トゥールダルジャン総料理長ドミニク・コルビが描く日本の食材・酒とフレンチの融合。全国各地を巡るなかで出会ってきた「作り手の想い」、「先人の知恵」「伝統の技」から得られたインスピレーションを一枚一枚のプレートに表現します。

TEL 070-9122-1898

営業時間 Lunch 12:00 - 14:30(Lo. 13:00) /Dinner 18:00 - 21:30(Lo.19:30)

URL <https://dominique-corby.com>

**LIGHT BOX ATELIER / SEMPRE** (ライトボックスアトリエ / センプレ) /2F

デザイン、ファッション、アート、クラフトの多様な発信の場。180平米のフリースペースには、天井から自由な吊り機能、色の変化、明るさ、色温度の調整がアプリ一つで可能な照明など、様々な展示が出来る仕組みが組み込まれています。

TEL 03-6407-9093

営業時間 9:00 - 22:00

URL <https://lightboxstudio.net>

**IDÉAL TOKYO** (イデアル トーキョー) /3F

【理想的な】を意味するIDÉALでは、「五感で遊ぶ」のコンセプトをもとにホームエンターテイメントとデンマークを主体としたヴィンテージ家具の視点から、理想的な空間作りとライフスタイルを発信します。美しい音楽や映像を楽しむオーディオ&シアター、ヴィンテージ家具が作り出す時間軸を通して、五感で遊ぶ時間をイデアルのインテリアサロンでお楽しみください。

TEL 03-6426-5027

営業時間 11:00 - 18:00

URL : <https://www.ideal-tokyo.jp>

**能舞台** (一般非公開) /4F

本格的な庭園が眼前に広がる檜造りの能舞台。樹齢300年の松の木と鏡松が対する特別な空間が広がる。能やクラシック演奏会などの文化的発信の場となります。